

## 津波避難施設の整備に関する説明会の実施状況について

## 1 実施状況

平成24年12月21日から平成25年2月2日にかけて、「津波避難施設の整備に関する基本的考え方（素案）」等について、説明会を次のとおり実施した。

実施日		実施時間	会場	対象	対象世帯数	参加人数
平成 24年	12/21(金)	19:00～20:30	六郷市民センター	三本塚町内会	約140世帯	38人
	12/25(火)	18:30～20:00	岡田会館	南蒲生町内会 堀切町内会	約350世帯	42人
平成 25年	1/15(火)	18:00～19:30	新浜町内会仮設 集会所	新浜町内会	約150世帯	14人
	1/18(金)	18:00～19:30	六郷市民センター	井土町内会 種次町内会 二木町内会	約310世帯	30人
	1/24(木)	19:00～20:30	岡田コミュニティセンター	上岡田町内会 下岡田町内会 荻袋町内会 南福室町内会	約540世帯	10人
	1/26(土)	10:00～11:30	中野白鳥町内会	中野新町町内会	約160世帯	27人
		13:30～15:00	集会所	中野白鳥町内会	約600世帯	73人
	1/31(木)	19:00～20:30	岡田コミュニティセンター	港南町内会	約470世帯	30人
	2/2(土)	10:00～11:30	マルチ白鳥参番館 集会所	マルチ白鳥町内会	約270世帯	20人
		19:00～20:30	七郷市民センター	笹屋敷町内会 神屋敷町内会 四ツ谷町内会 藤田町内会	約430世帯	22人
計					約3,420世帯	306人

※ 各地区の対象世帯については、東日本大震災前に各地区に居住していた世帯を基本とし、各町内会と相談の上で定めている（対象世帯数は概数）。

## 2 説明内容（配布資料は別添参考資料を参照）

- (1) 東部地域で展開される復興関連事業について
- (2) 「津波避難施設の整備に関する基本的考え方（素案）」等について

## 3 「津波避難施設の整備に関する基本的考え方（素案）」等に関する主なご意見

163件

((参考)「津波避難施設の整備に関する基本的考え方（素案）」に関する主なご意見一覧)を参照)

[内訳] 説明会…142件、郵送…3件、FAX…12件、メール…4件、電話…2件

(参考)「津波避難施設の整備に関する基本的考え方(素案)」等に関する主なご意見一覧

(同じ趣旨の意見はまとめて1件として集計)

(1) 避難施設について(29件:17.8%)

No.	意見の概要
1	渋滞していれば車の方も避難場所を目指す。そういった方も考慮して収容人数を考えて欲しい。
2	避難タワーなどの一時的な避難場所でも、防雨・防雪・防寒対策や備蓄、トイレの整備等をしてほしい。
3	避難タワーはあくまで緊急的なもので、最終的にはがっちりした施設を要望したい。
4	自動車避難を優先で考えるべきと思うが、立体駐車場のようなものであれば、車を利用して避難でき、普段も駐車場として使い勝手がいいのではないかな。
5	築山を整備し、普段は運動場や公園として使った方が、鉄筋コンクリート構造や鉄骨構造の施設より寿命が長い。
6	岡田小学校が一番の避難施設になるので、増築等をしてほしい。
7	東六郷小学校を避難施設にするのであれば、3階建てにして、防災設備を整えた避難施設にしてほしい。
8	東六郷小学校の避難施設のあり方だが、住民の方が戻られて住まわれているという状況においては、早く施設を以前のように使えるようなかたちにしていただきたい。
9	東部道路西側の商業施設の災害時の利用に関して、市として地区の人が利用できるような対応をしてほしい。
10	津波の被害のないところに新しい施設を作る構想はないのか。新たに学校などを整理し、市としての避難所施設として、産業道路の近くの安全な場所に作らないのか。地区の人を安心させるためにはそういう施設が西側にも必要なのではないかなという発想があってもいいのではないかな。
11	津波避難施設に関連して、夜間や停電時でも分かりやすい標識や海拔標識を検討してほしい。
12	北蒲生地区は集団移転対象地区になっており、今後企業が誘致されると思う。そのエリアにおける津波避難施設は、企業が整備するのか、それとも市が整備するのか。
13	白鳥地区の北側にある高い建物に対し、津波からの一時的な避難場所としての使用について、仙台市から働きかけてくれるのか。
14	津波が来た場合、津波避難タワーに消防士等が来るのか。それとも自由に上がって避難するのか。
15	タワー型と併設型の違いについて詳細を知りたい。
16	公園内に施設を整備するとのことだが、普段の管理は誰がするのか。施錠等の安全対策はどうするのか。
17	幼児や高齢者がいても避難施設に上れるように階段、エレベーターを別に作っておくなどの対策が必要である。
18	避難施設整備のスケジュールを教えて欲しい。
19	仙台市のまちづくり(人口誘導等)とリンクしているのか。ランドデザインをもっと考えてほしい。

20	今度大津波が来たら、防潮林もないので、以前よりも影響が大きいと思う。白鳥地区は標高が低く、徒歩での避難先は学校かマンションしかない。万一の際、下校中の子供の避難先としても早急に整備してほしい。
21	笹屋敷地区に施設を整備してほしいが、今後施設を整備する上で地域と協議してもらえるのか。

(2) 避難施設の場所について(16件:9.8%)

No.	意見の概要
22	避難時のパニック状態で、市有地にお年寄りなどが徒歩で避難することは難しい。出来るだけ集落の中に整備してほしい。
23	東部道路の避難階段は必要ない。三本塚地区の場合、老人ホーム(杜の里)があるので、そこを活用してはどうか。
24	岡田バス出張所に避難施設を作っても、海側のためあまり避難しないだろう。
25	新浜の津波避難施設は県道塩釜亘理線の西側に整備してほしい。
26	集会所を兼ねた施設にしてほしいが、早期整備が可能な市有地に整備した後で、民地にも整備してもらえるのか。出来ないのであれば、時間がかかっても最初から内陸の民地に整備してほしい。
27	杖をついてしか歩けないので、井土浜の町内に避難施設を作ってほしい。
28	井土地区は、ポンプ置場に避難するよう言われても、やはり海から離れたい気持ちがあり、小学校に来る。
29	岡田学区内には津波避難施設は岡田小学校しかない。海側に避難するのは心理的にも現実的ではないので新設してほしい。
30	浸水シミュレーションにより浸水1m以下で家屋等の流失が抑えられるならば、高砂中学校に避難するリスクより自宅2階に上がっている方が安全だと思う。ただ、車が浸水してしまうので、高台へ自主避難すべきか。
31	足が悪く歩行が大変。近くの白鳥幼稚園が避難場所として適切であり、避難所として2階および屋上を整備してほしい。
32	避難タワーを整備するのであれば、例えば集会所を高層化すれば、用地の取得に関係なく、早期に整備できるのではないか。
33	石場地区に津波避難施設を整備してほしい。

(3) 避難道路について(31件:19.0%)

No.	意見の概要
34	避難道路が3本では少ない。
35	枝線となる市道や農道が西に向かって多くあるので、そちらの整備をしてほしい。

36	県道塩釜亙理線をかさ上げすると、すぐに西側へ下りられないため、車での避難が難しくなるのではないか。
37	西側に向かう車線だけでも拡幅してほしい。
38	かさ上げ道路と既存の農道、市道をどうやって繋ぐのか。
39	交差点を立体交差にしてほしい。
40	避難施設より道路の整備を優先してほしい。
41	西方向へ向かう信号の切り替わりを早くしてほしい。
42	産業道路の信号を東西方向を優先にする必要がある。
43	避難道路や県道塩釜亙理線に早急に外灯をつけてほしい。
44	避難するときは自動車が大半なので、避難道路の拡幅整備が必要。
45	避難道路の標示、標識等の整備もお願いしたい。
46	3本の主要避難道路を拡幅してほしい。
47	塩釜亙理線は東部道路のように穴を開ける構造にするのか。
48	産業道路を越える高架の橋を生活道路として作ってほしい。
49	かさ上げ道路の下を通る道路は一切作らないということか。
50	昨年12月7日の地震では、避難する車で卸町方面へは渋滞で動けなかったもので、産業道路の信号の交通規制を即図るべき。
51	七北田川沿いの道路を拡幅してほしい。
52	港南地区から西へ向かう道路は幅が狭い。せめて西へ一直線に結ぶ広い道路を整備してほしい。
53	震災時、西に向かう道路は詰まっていたが、東に向かう道路は空いていた。一方通行にできないのか。生活道路に東に向かう車が入ってこないように車を誘導できないか。
54	岡田小の裏側の通学路は歩道が途中から無いので、車と人が両方通れる道路にしてほしい。
55	コロナワールドまで行く田んぼ道の拡幅整備を要望している。
56	東部道路より西側の方のために標識等を設置して誘導してほしい。
57	四ツ谷地区は(避難施設がないので)車での避難が中心になるが、停電等もあり、東部道路のトンネルをくぐるか心配であるので、誘導等を検討してほしい。
58	東部道路の上に上がれる道路は検討しているのか。
59	かさ上げ道路を走行中に地震が起こったら避難道路に曲がると思うが、それは想定しているのか。

(4) 避難時の自動車利用について(13件:8.0%)

No.	意見の概要
60	車は財産であり、自動車避難することを前提にした計画が必要である。
61	住民の自動車利用が20%になっても、道路を通行している車だけで渋滞するのではないか。
62	家も車も駄目になるでは本当につらいものがある。いち早く大事なものを積んで、車で西の方へ逃げたいという心情が働く。
63	自動車を減らすことは難しいので、農道を利用した避難をしてはどうか。
64	平成23年4月7日、24年12月7日の地震の際、道路の渋滞は深刻な状況であった。説明会で使用した動画は、現実とかけ離れているので、あまり感心できない。
65	今後、港湾地区周辺の企業が増え、自動車避難者も増えることを想定すべき。
66	次に地震が起きたら以前よりも車に乗って逃げる人が多くなるのではないか。緊急時に止められるスペースを作って欲しい。
67	昨年12月7日の地震による津波警報の際に、車を守るという意識が高く、車を移動させるために自宅から出て行った方がいる。道路の渋滞を考えると、出て行くべきかどうか迷う。渋滞を考慮した車の移動ルートを示されるとありがたい。

(5) 情報伝達について(16件:9.8%)

No.	意見の概要
68	防災行政無線を避難施設に取り付けてほしい。
69	拡声装置のサイレンが聞こえないので設置場所等を考えてほしい。
70	全ての広報車やヘリ等による警戒警報等を実施してほしい。
71	仙台市では地震が起きてから何分後に拡声装置で放送するのか。
72	防災行政無線(津波情報伝達システム戸別受信機)を各家庭に配布してほしい。
73	家で災害を知る方法、停電になっても知る方法、子供が外で遊んでいても知る方法を目視的な対策で提案してほしい。
74	予行演習を兼ねて気象警報の際に津波情報伝達システムを起動させてほしい。
75	津波で流失した県道塩釜亘理線の拡声装置を整備してほしい。
76	拡声装置の大体の設置場所を教えてください。
77	拡声装置のサイレンが聞き取りにくいので、情報の内容が分かるような工夫をしてほしい。

78	拡声装置のサイレンを聞いて避難した人がどれくらいいるか調査し、町中の人聞こえるような防災無線の配置をしてほしい。
79	白鳥地区は、震災時に長期間停電となり、全く情報がこなかった。津波情報伝達システムが稼動していたかどうか分からない。
80	新たに拡声装置が設置されたが、2月1日の試験放送の際は聞こえなかった。
81	六丁の目町内会内に3箇所くらい津波情報伝達システムの拡声装置を設置してほしい。
82	石場地区に津波情報伝達システムの拡声装置を整備してほしい。

(6) 地域の避難計画作成、避難訓練の実施について(4件:2.5%)

No.	意見の概要
83	シミュレーション通りなるべく徒歩で逃げられるように、地域としての訓練を進めてもらいたい。訓練の支援は一回だけでなく度々行い定着させてほしい。
84	防災訓練を年一回は、津波避難施設を使ってやるのが大事である。小学生が1人でも逃げられるように町内会、市をあげて訓練をしてほしい。
85	長い距離を歩けない方や病気の方が近くの避難施設へ行くことが基本であり、元気な方や運転できる方は遠くへ行けばいい。自動車は財産だが、命を守るために安全なところに行くことが大事である。
86	防災マップに避難所を載せたいが、避難所の種類が多すぎて理解できない。シンプルに2つか3つにしてほしい。藤田公会堂はどの位置付けになるのか。

(7) その他(54件:33.1%)

No.	意見の概要
87	東部地区の復興事業について、国や県との連携はどうなっているのか。
88	地域の地盤沈下をどの程度把握しているのか。今後、再建する際にどれだけかさ上げが必要か教えて欲しい。
89	より安全な場所へ移転したいとの要望を実現させてほしい。
90	今の制度では、再建できる人に対しては支援があるが、再建できない人はゼロである。そこに住む方に対して平等に支援してほしい。
91	七北田川の堤防を高砂橋までではなく、もっと上流まで延ばしてほしい。
92	七北田川を浚渫してほしい。
93	避難施設の視察を是非休日に行いたいので調整してほしい。
94	問い合わせや要望に対しての調整窓口を1つ作ってほしい。

95	家を修復した後に危険区域に指定された。行政は何をやっているのか。
96	高齢者と一緒だと車で避難することになるが、渋滞等で動けなくなり、車を降りて近くの高台へ逃げるといった想定もシミュレーションしてほしい。
97	行政が考えているのは現在である。この地域は将来高齢化が進むので、道路整備も避難場所もその辺を考えてほしい。
98	かさ上げ道路東側の田んぼへ行きづらくなるのであれば、買い上げなどの措置で農家を救う方法を考える必要がある。
99	要望したものが反映されていない。再度提出するので同じことがないようにしてほしい。
100	かさ上げ道路の排水をどうするのか。
101	かさ上げ道路の6m程度のかさ上げというのは、どこを基準にした地盤になるのか。T.P.で何mか。
102	去年の12月7日のNHKのラジオは避難を煽るようで、住民が慌てるのでよくない。
103	東六郷小学校をどうするか、それを先に決めてほしい。東六郷小学校に、学校、避難場所、コミュニティセンターを集約してほしい。
104	地区毎の都市計画を示してもらいたい。その辺の方向性がないと各家庭も決断しにくい。
105	東部道路の階段は私たちが先頭になって設置してもらった。行政は縦割りで結果が出せない。今後も、復興についてこのような会合をもって、住民からの要望なども聞きながらしてほしい。
106	東部道路の階段の鍵を市が管理するのか。NEXCO 東日本とどういう話になっているのか。
107	東部道路に車止めがあり、今回の津波の際に通ることができなかった。前から車止めを取ってもらうように道路課に要望していた。ようやく取ってくれたが、災害が発生してからでは遅い。要望に早期に対応してほしい。
108	シミュレーションの条件は、一般の健康な大人が歩いた場合ということか。お年寄りが歩いて避難されることを考えた場合に、時間的に厳しい気がする。
109	七北田川の右岸堤防のかさ上げは河口からどの辺までか。沿岸沿いに7.2mの防潮堤ができれば、東日本大震災のような規模の津波がきたときは、七北田川に逆流するのが予想される。相当上流まで堤防をかさ上げしないと堤防が決壊し、岡田全域が浸水するのではないか。
110	復旧されていない防災センターを岡田小学校敷地内に設置することは出来ないか。出来ないとすれば、防災センターをなるべく早目に復旧させてほしい。
111	かさ上げ道路は、七北田川の堤防に突き当たってから堤防より低いところを通るということだが、なぜ二重にするのか。ここは車を普通の道路のように通させるということか。
112	震災時は携帯電話等での連絡に時間がかかるので、地域内に公衆電話の設置(2~3台)を希望する。
113	仙台港防潮堤は、具体的にどういう施設なのか。完全に隙間を塞げないところにはゲートのようなのをつけたりするのか。
114	白鳥地区の緩衝帯は、津波の進入を防ぐのか、それとも弱めるためのものなのか
115	白鳥地区の緩衝帯の整備により、津波の流速がどの程度弱まり、建物への影響度合いがどの程度になるのか。また、盛土の部分について、逃げ遅れ対策として、歩道的な利用ができるのか。

116	かさ上げ道路で防御された津波が横方向へ影響し、七北田川を遡上し、白鳥地区にも影響するのではないか。津波シミュレーションで確認したのか。
117	七北田川の堤防の高さの根拠は。
118	白鳥地区に整備する緩衝帯や津波防護壁については、内水の問題も踏まえての計画か。
119	七北田川の堤防にひびが入っており、沈下しているのが分かる。早急に対応してほしい。
120	かさ上げ道路を盛土するための材料をどこから運んでくるのか。
121	中野白鳥、中野新町の住人は、雨水・排水対策に関心を持っている。27年度にポンプ場が完成することだが、それまでは現状のままか。
122	七北田川の堤防とかさ上げ道路と現行のサイクリングロードがどうなるのか。
123	仙台市は、岡田地区の今後の人口をどうしようと考えているのか。
124	人口集中のタイミング(海水浴場、公園等)をどう考えているのか。
125	大震災時に、雨水管を海水が逆流し、産業道路の2つの交差点付近で水が上がり、避難が困難な深さになっていた。ポンプ場が早期に完成されると思うが、雨水管を止める方法があるか。
126	緑地帯を嵩上げすると、コンテナ等の流入を防げるが、一方で、流入して溜まった水をはけなくなるのではないかという不安がある。周辺が工業地になって地盤が高くなっており、この辺りは低いままなので水が流れてくる。
127	中央分離帯に防護壁を作ることにより死角ができ、防犯面で不安があるので、警察と連携の上対応されたい。
128	要援護者対策や災害時の防災対策が現実のものとなり、町内会だけでは避難所運営が難しい。長期間町内で変わることのない防災サポーターによる運営ができるような取組みを実現する必要がある。是非各町内会で防災サポーターを作してほしい。
129	四ツ谷の東部道路避難階段は上り口に金網等が設置してあるが、上りやすくするために設置したのか。何も相談なく設置されたので、事前に教えてほしい。
130	避難所について、各地区で考え方が違うので、1人か2人で各地区をまわって説明してほしい。
131	東部道路の避難階段に鍵がかかっている。いつ鍵を町内会に渡してもらえるのか。
132	東部道路の避難階段は蹴破れるようにしてはどうか。住民を信用して各地区に鍵を預けてほしい。
133	昨年11月12日に訓練をした際も鍵がついていた。対応が遅いのではないか。